

牧師室から(2020.12.27)

海老名教会で初めてのクリスマスを迎えました。コロナ禍の中でしたが、主のご降誕を皆様と共に祝うことができたことは大きな喜びでした。何よりも今度のクリスマスにおいて受洗者を与えてくださった神様に感謝いたします。受洗者もよく決断してくださり、一生懸命に聖書の学びに励む姿は牧師として大きな励ましでした。今年も転入会者もおられて、試練の中でも元気づけられた年でした。

一年前の12月最後の主日に、海老名教会で私は初めて説教をすることになり、緊張と期待の中、皆様にお会いしました。礼拝で真摯にみ言葉に耳を傾けておられた皆様の姿や礼拝後の楽しい焼きそばパーティーなど、その時のことが思い浮かびます。あっという間に一年が過ぎました。

もう私たちは海老名市の住民になり、どこのスーパーに何が安いのかも把握し、近所の方々とおしゃべりを楽しんでいます。そして、あっちこちの近くの公園にも出かけ、季節ごとの美しい自然の移ろいを満喫しました。最初は教会の方々には会えなくて寂しかったですが、今は皆様の顔と名前を覚えることができました。まさに、主の御守りと恵みのうちに歩めたと思います。アブラハムに住み慣れたところから旅立つように命じられた神様が、アブラハムと共に歩まれたように、私たちにも恵みを施し、先に立って導いてくださったことを日々感謝しています。そして、私たちを快く迎えてくださり、いろいろなことに支えてくださった海老名教会の皆様にも感謝いたします。

この世の騒ぎ、試練は続いています。変わらぬ主の愛と恵みに委ねて新しい年を迎えたいと思います。

新年を迎える皆様の上に主の御守りと祝福が豊かにありますように！

(鈴木善姫牧師)